

SUPAIR

JP



取扱説明書
ALTIRANDO LITE 2

SUPAIR S.A.S
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 CHAVANOD
FRANCE

RCS ANNECY 387956790

Revision index : 05/04/2023



アルティランドライト2をお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、ほぼ40年に渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は:たゆまず向上し続けるために研究開発することです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけであることを願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのHP (www.supair.com)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店あるいはファルホークインターナショナル(有)にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

目次

はじめに	4	フライト中の挙動	33
スペック	5	フライトの各段階	34
サイズチャート	6	プレフライトチェック	34
構成部品	7	テイクオフ	34
ハーネス外観図	8	空中	35
アクセサリーのセットアップ	9	アクセルの使用	35
カラビナ	9	ランディング	35
シートプレート	9	レスキューパラシュートを使う	36
アクセルシステム	10	レスキューパラシュートを投げる	36
リバーシブルザック	11	トーイング	36
フットレスト(オプション)	13	必須点検項目	36
レスキューのセットアップ	14	6か月ごとの点検	36
レスキューコンテナの特徴	14	1年ごとの点検	36
レスキューを専用のインナーコンテナに収納する	15	事故が起きたら	37
ハーネスにブライダルを接続する	16	保守	38
ブライダルをガイドスリーブに収納する	18	クリーニングおよびお手入れ	38
ブライダルとレスキューの接続	19	保管および運搬	38
レスキューをコンテナに収納する	20	耐用年数	38
レスキューの引き出し確認は必須です	25	修理	39
収納ポケットおよびガジェット	26	交換部品	39
ハーネスの調節	27	素材	39
調節項目	27	リサイクル	39
ハーネスの調節	27	衝撃吸収システムに関して	40
ザックモードへの変換	28	保証	41
グライダーとハーネスの接続	32	免責事項	41
ハーネスにグライダーを接続する	32	フライト装備	41
アクセルの接続	32	整備履歴	42

スップエアー流パラグライディング—情熱を分かち合う—世界へようこそ！

アルティランドライト2はあらゆるレベルのフライト愛好者を対象とするハーネスです。設計コンセプト並びに素材の選択は、その耐用年数と品質を特に考慮しています。

アルティランドライト2はEN1651+A1およびLTF91/09 120daN(約120kg)野認証を取得しています。また、指令89/686/EECに準拠してCE認定を受けています。さらにこの製品は、欧州規格EN1651+A1の衝撃保護要件を満たしています。したがってヨーロッパおよびドイツの安全基準に適合しています。

この取扱説明書を読んだ後、フライトする前に必ず、シミュレーターにぶら下がりてハーネスのチェックをしてください。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



警告！



危険！！



スペック

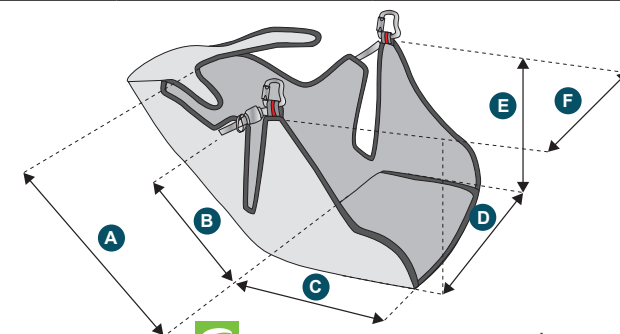
ハーネスサイズ		S	M	L	XL
	パイロット身長 (cm)	155-175	170-185	180-195	190-205
	パイロット体重 (最少 - 最大) (kg)	60 - 80	65 - 85	70 -100	90 - 120
	ハーネス重量 (納入時*)(kg)	2.75	3.00	3.10	3.22
	ハーネス重量 (レディ・トゥ・フライ**)(kg)	2.58	2.83	2.95	3.07
	ハーネス重量 (リバーシブルザック無し***)(kg)	1.94	2.20	2.29	2.41
	使用目的	ハイクアンドフライ/エリアでのフライト			
A	背もたれ高さ (cm)	62	65	71	75
B	リクライニング調節高さ (cm)	31	34	38	40
C	シート深さ (cm)	44	46	48	50
D	シート幅 (cm)	37	39	41	43
E	カラビナ高さ (cm)	43	45	45	48
F	カラビナ間距離 (cm)	36-44	37-45	38-48	40-50
	衝撃吸収システム : エアバッグ	はい			
	衝撃吸収システム : バンプエア	いいえ			
	認証	EN1651+A1 / LTF / EPI CE			
	タンデムフライト (パイロット - パッセンジャー)	否 - 否			
	アクロバットフライト	否			
	トーイング	可			
	リリースカラビナ対応	否			
	レスキューコンテナ容量	2.9 L à 5.3 L			
	リバーシブルザック容量	70 L	70 L	90 L	90 L

* リバーシブルザック + カラビナ + レスキュートグル・インナーコンテナ + 座板 + レスキューブライダル + アクセル

** リバーシブルザック + カラビナ + レスキュートグル・インナーコンテナ + 座板

*** カラビナ + レスキュートグル・インナーコンテナ + 座板

- | | | | |
|----------|-------------|----------|---------|
| A | 背もたれ高さ | D | シート幅 |
| B | リクライニング調節高さ | E | カラビナ高さ |
| C | シート深さ | F | カラビナ間距離 |



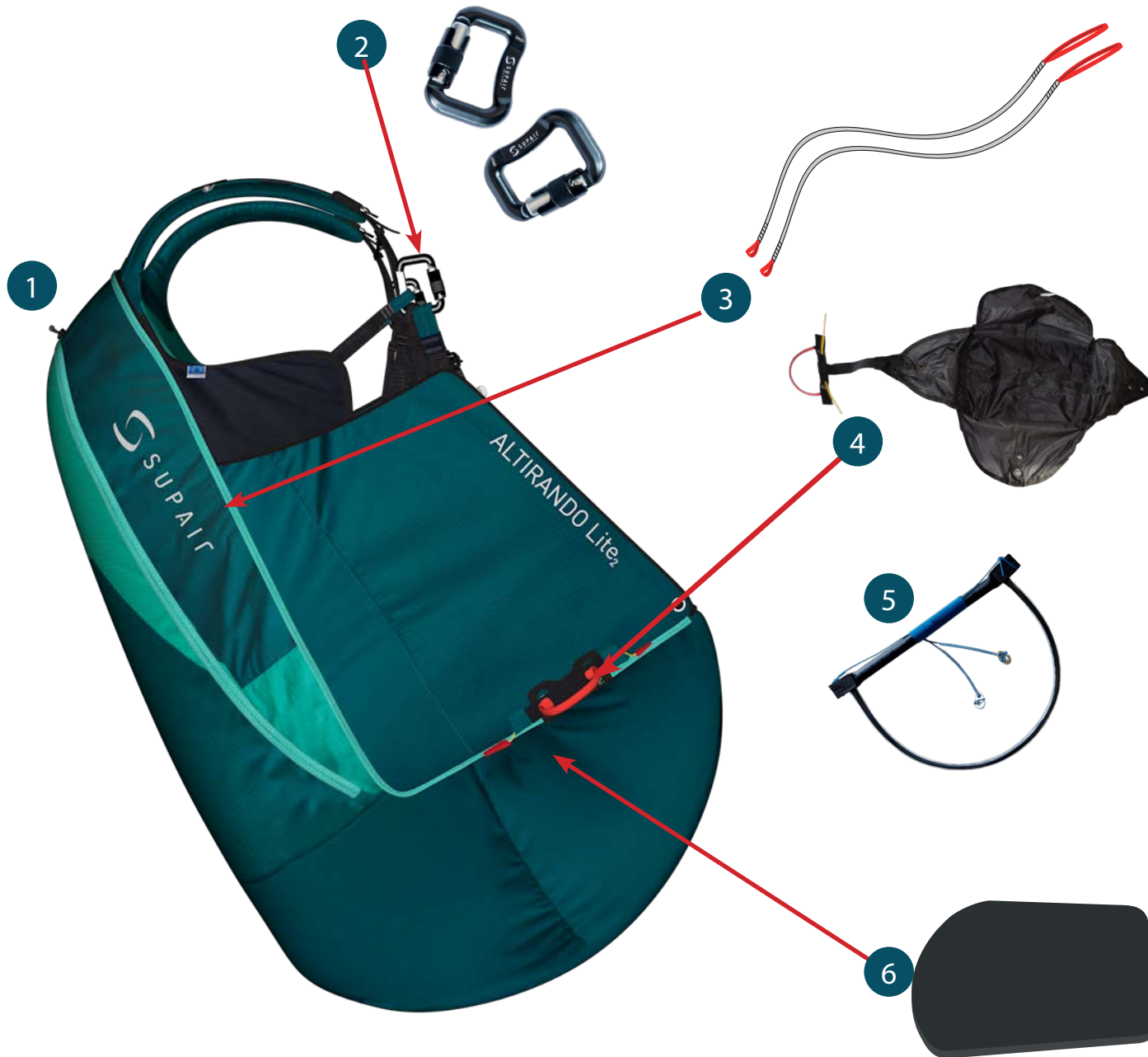
サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながら最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がり異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

Height weight	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m
50	S	S	S	S						
55	S	S	S	S						
60	S	S								
65	S	S			M	M	M			
70			M	M	M	M	M			
75			M	M	M			L	L	
80			M	M	M			L	L	
85						L	L	L	L	
90						L	L	L		XL
95						L	L	L		XL
100						L	L		XL	XL
105						L	L		XL	XL
110									XL	XL
115									XL	XL

 シミュレーターにぶら下がり実際に試すことを推奨

構成部品



- 1 ハーネス本体
- 2 30mmジユラ製カラビナ
- 3 ダイニーマ製ソロレスキューブライダル
(商品コード: ELESOLODYNEEMA)
- 4 レスキュートグル+レスキューインナー
(商品コード: POIR4)
- 5 2Bスタンダードアクセル
- 6 ポリプロピレン製座板
(商品コード:Sサイズ: MPPL030
Mサイズ: MPPL031
Lサイズ: MPPL032
XLサイズ: MPPL033)

オプション

自動収納式フットレスト20mm
(商品コード: CALEPIEDRETRACT20)

ハーネス外觀図



- ① チェスト・レッグベルト
- ② チェストベルト長さ調節バックル
- ③ リクライニング角度調節バックル
- ④ 肩ベルト調節バックル
- ⑤ アクセルロープ用プーリー
- ⑥ レスキュートグル
- ⑦ レスキューコンテナ
- ⑧ カラビナ取り付けポイント
- ⑨ レスキューブライダル接続ポイント
- ⑩ フットレスト取付用バックル
- ⑪ エアバッグ
- ⑫ エアバッグ・エアインテーク
- ⑬ 無線機・小物入れ
- ⑭ ドリンクチューブ用スリット
- ⑮ 背部収納ポケット
- ⑯ 腰部サポートベルト調節
- ⑰ エアバッグ形成補助ロッド



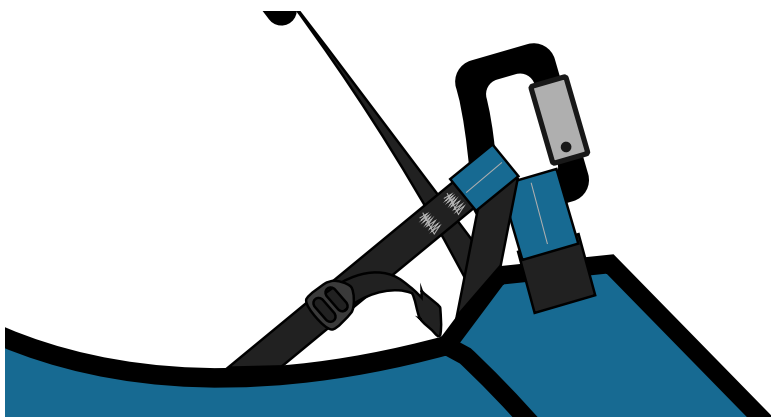
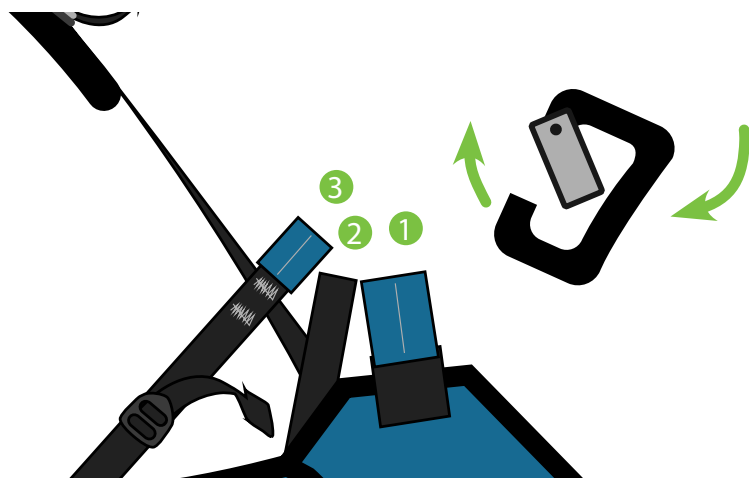
アクセサリーのセットアップ

カラビナ

対応するカラビナ:

ジュラ製オートマチックカラビナ30mm

商品コード: MAILCOMOUS30



座板

ポリプロピレン製座板:

Sサイズ (商品コード:MPPL030)

Mサイズ (商品コード:MPPL031)

Lサイズ (商品コード:MPPL032)

XLサイズ (商品コード:MPPL033)



座板の挿入:

1. シートを裏返して、座板収納ポケットにアクセスします。
2. 収納ポケットに座板を挿入します。
3. 座板に脱落防止用フラップをかぶせます。

後方

前方



飛行方向 →

アクセルシステム

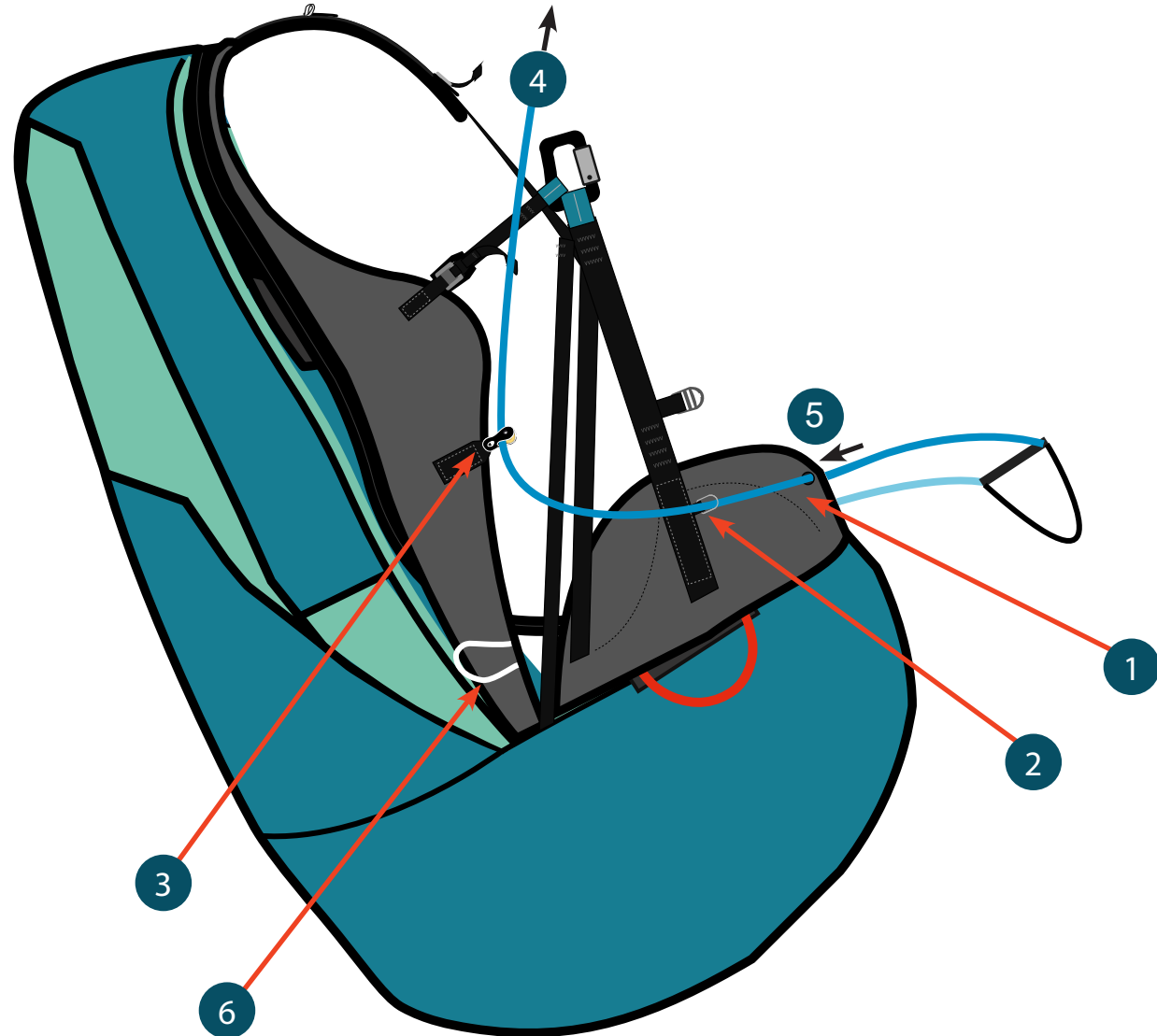
対応するアクセル:

2Bスタンダードアクセル
(商品コード: ACCEL2BSTD)

アクセルのセットアップ:
ハーネスの両サイドにおいて:

- ① ハーネス前方に位置するハトメにアクセルコードを通す。
- ② アクセルコードをDリングに通す。
- ③ アクセルコードをハーネスのサイドにあるプーリーに通す。
- ④ アクセル接続用金具(ブルンメルフック)にアクセルコードを接続する。
- ⑤ ゴムロープをハーネス前方に位置するハトメに通す。
- ⑥ ゴムロープにプラスチック製クリップを取り付け、背もたれにある接続ループに接続する。

シミュレーターにぶら下がり、実際にアクセルバーに足をかけアクセルバーを押したり引いたりして、アクセルロープの長さを調節する。



アクセサリのセットアップ

リバーシブルザック

1 リバーシブルザックをハーネスに接続するにはハーネスの背部ポケットを開きます。

2 背部ポケットににある2つのファスナーを確認します。

3 リバーシブルザック側の2つのファスナーを確認します。



アクセサリーのセットアップ

リバーシブルザック

- 4 2つのファスナーを向きが合うように結合します。



これでリバーシブルザックの接続が完了しました。

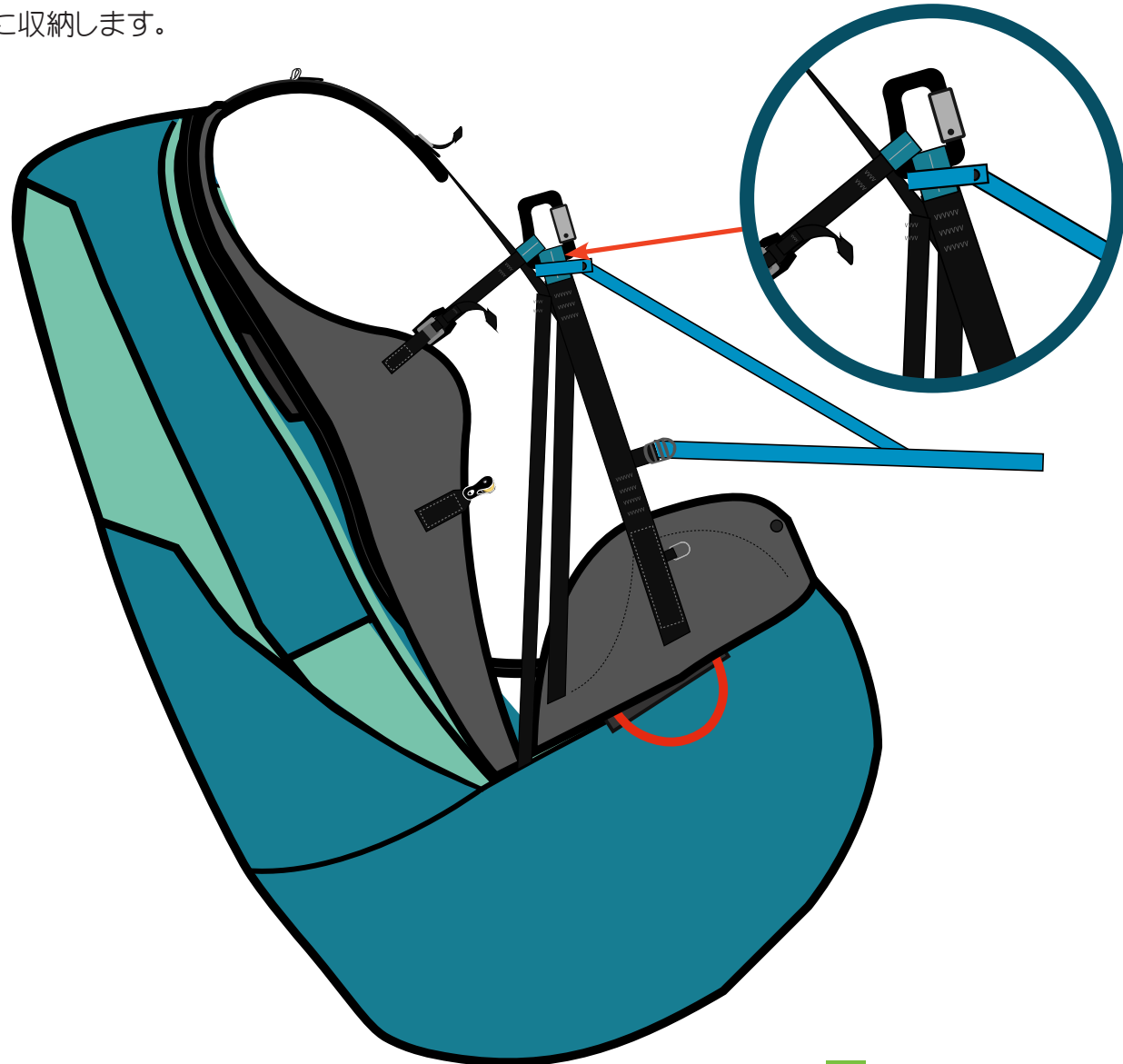
アクセサリーのセットアップ

フットレスト(オプション)

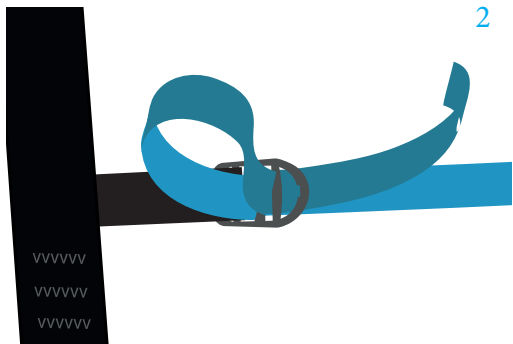
① フットレストのストラップをハーネスのサイドスカート前方に取り付けられているバックルに通します。

② ゴム製コードをカラビナ取り付けポイントのテープに取り付けます。

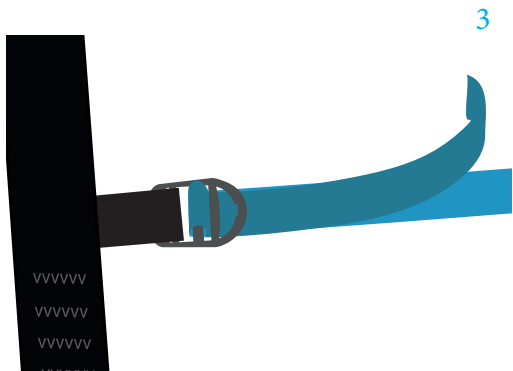
③ シミュレーターにぶら下がった状態でフットレストのストラップの長さを調節し、余ったストラップをゴム製のホルダーに収納します。



1



2



3

レスキューのセットアップ

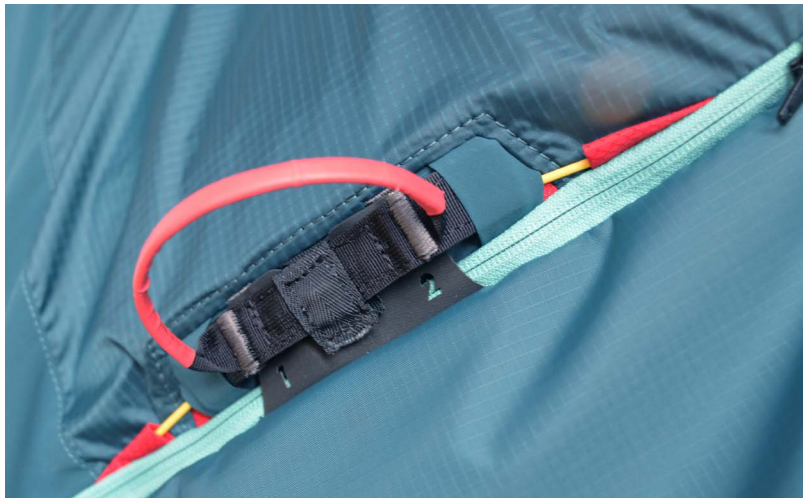
以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。



レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。

レスキューの容量はパッキングの仕方により異なることがあります。弊社のレスキューとこのハーネスのコンテナとの互換性は確認しています。他のレスキューも互換性がありますが、システムが適切に機能することを確認する必要があります。

レスキューコンテナの特徴



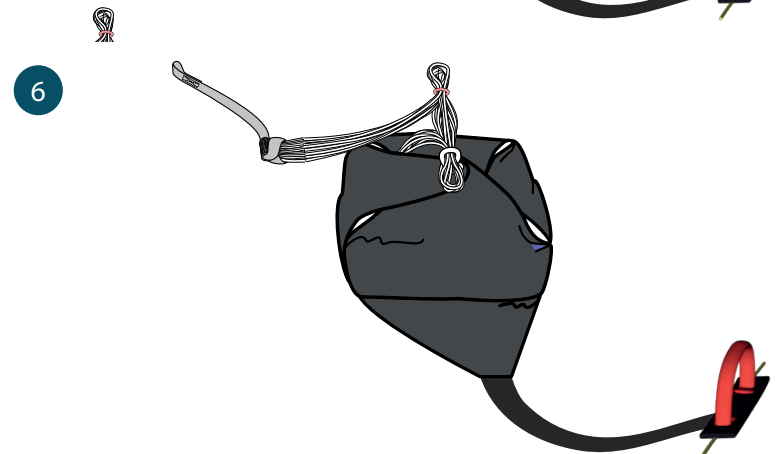
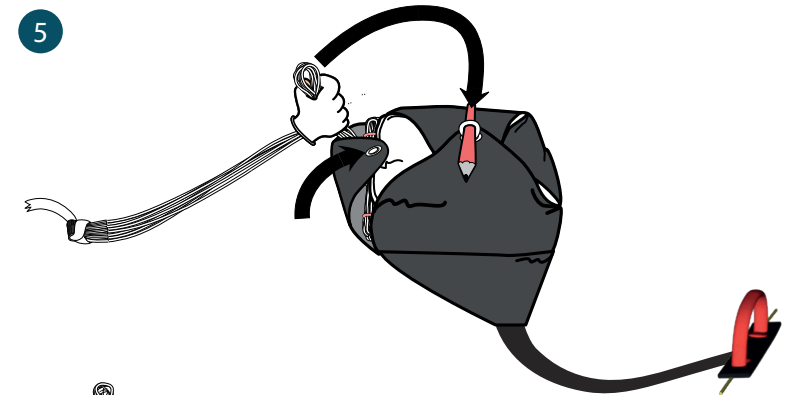
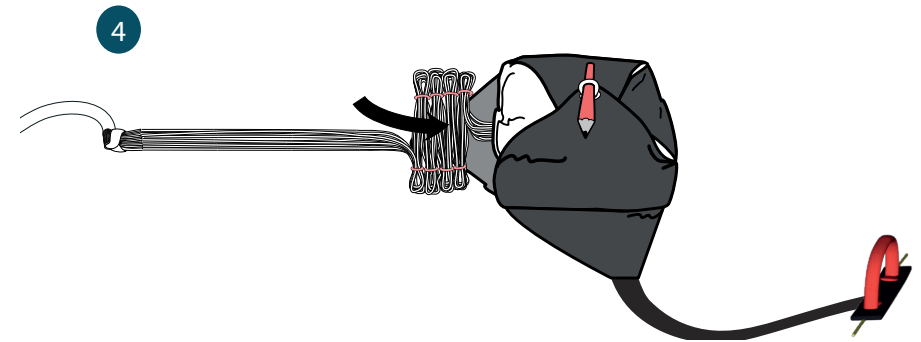
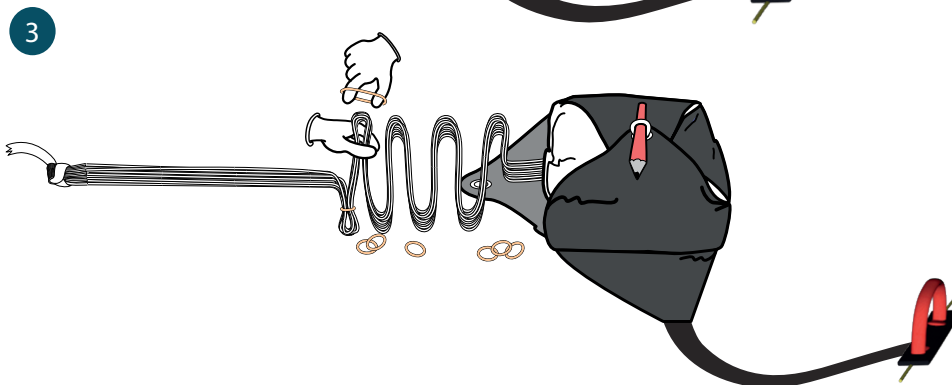
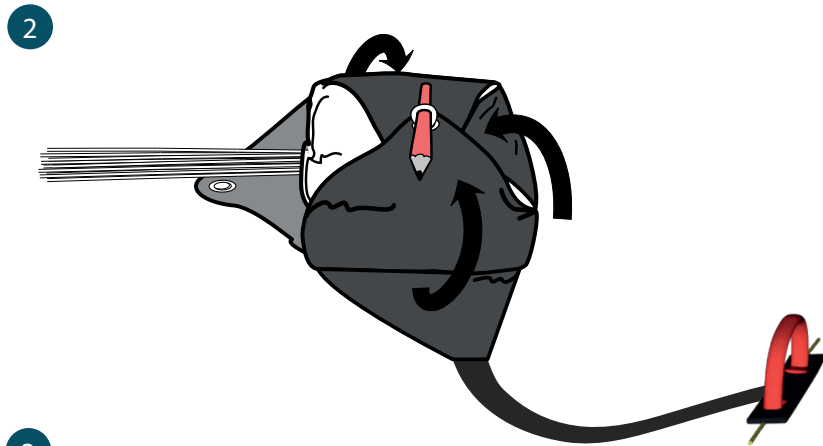
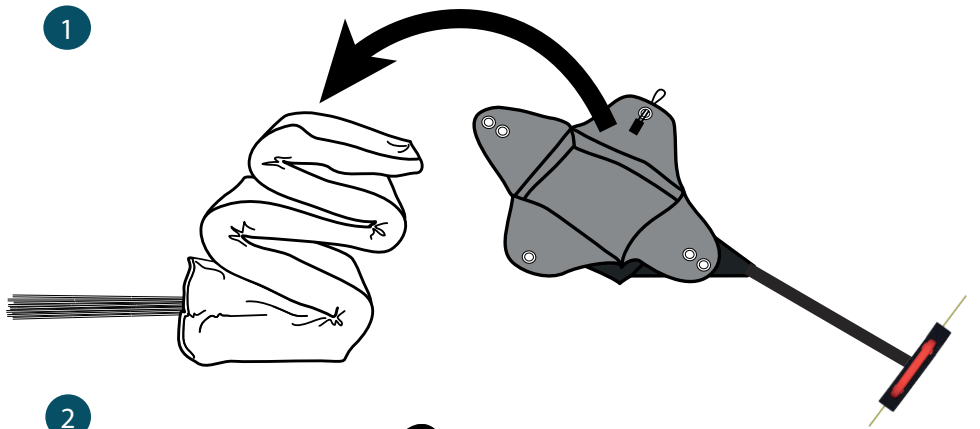
- コンテナはファスナーで閉じられケーブルでロックされます。
- コンテナ容量:2.9~4.75リットル
- スップエアーのレスキュー（シャインおよびフルードライトエヴォ）並びにその他のソロ用レスキューに対応。

アルティランドライト2SおよびMサイズ			
対応するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライトエヴォ	✓	✓	✓

アルティランドライト2LおよびXLサイズ			
対応するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
フルードライトエヴォ	✓	✓	✓

レスキューのセットアップ

レスキューを専用のインナーコンテナに収納する



レスキューのセットアップ

ハーネスにブライダルを接続する

>>レスキューブライダル接続ポイントへのアクセス

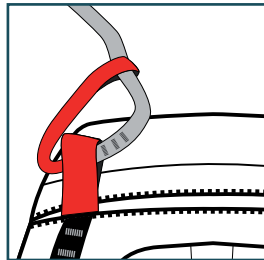
始めにブライダル接続ループへアクセス出来るように、ブライダルガイドスリーブのファスナーのスライダーをブライダル収納スリーブが上から下まですっきりと開放されるようにスライドさせます。開放したらファスナーのスライダーをレスキューコンテナのそばに置いておきます。



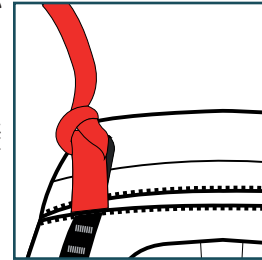
レスキューパラシュートのグリーンな開傘のため、2本1組のストレートブライダルの使用を推奨します。

A ヒバリ結びで接続する

1 それぞれのブライダルをヒバリ結びでブライダル接続ループへ接続します。ブライダルの大きい方のループを使用してください。



2 全てが正しく接続されブライダルがずれないようにしているかを確認します。もう一方のブライダルも同様に接続します。



3 ヒバリ結びを締め上げます。

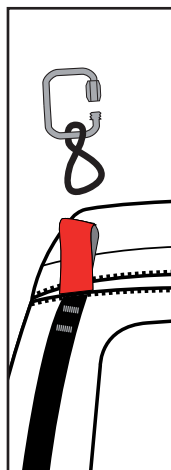


B 6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する

2個の角型6mmラピッドリンク®と4個のOリングを用意します。

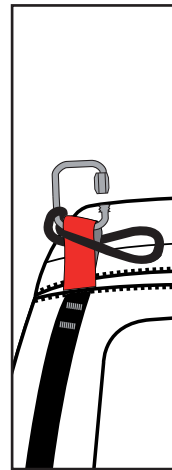
1 ラピッドリンク®を開放します。

- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。



2 1回ひねったOリングにブライダル接続ループを通します。

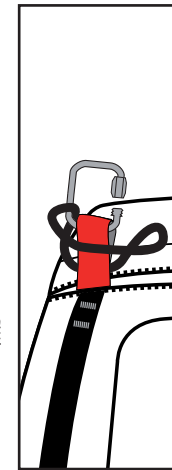
-ラピッドリンク®をブライダル接続ループに通します。



3 Oリングを1回さらにひねります。

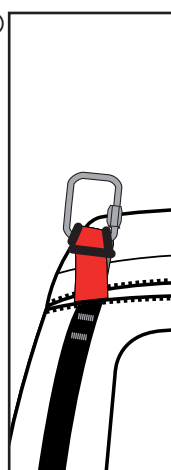
-ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

-ブライダル接続ループがずれないことを確認します。



4 一旦ラピッドリンク®を手で閉めておきます。

-反対側も同様に接続します。

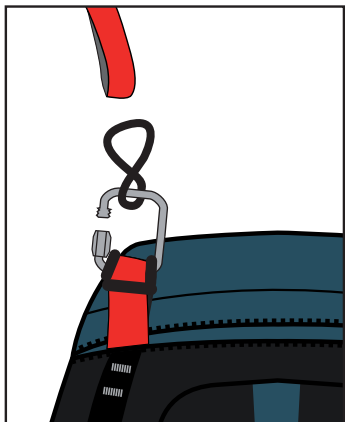


レスキューのセットアップ

ハーネスにブライダルを接続する

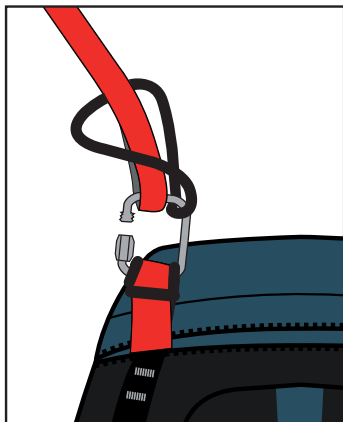
6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する(続き)

1



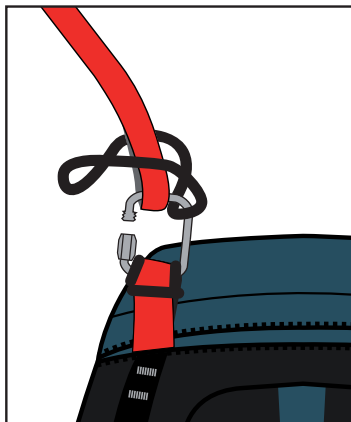
- ラピッドリンク®を開放します。
- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。

2



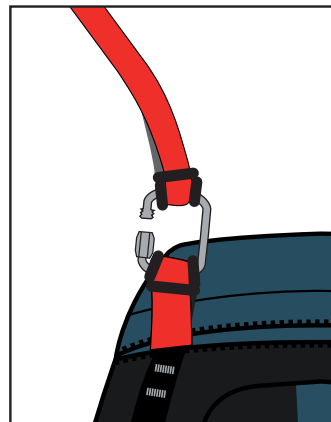
- 片一方のブライダルを1回ひねったOリングに通します。
- ブライダルをラピッドリンク®に通します。

3



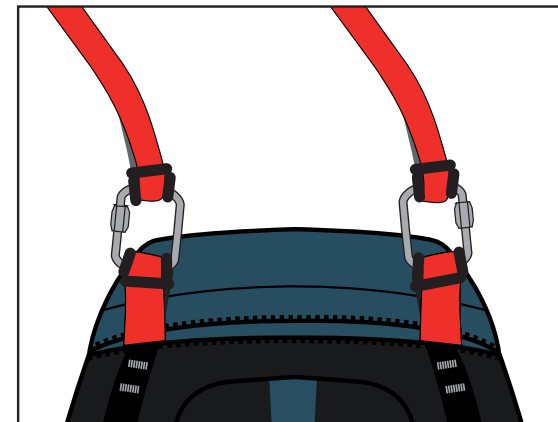
- Oリングをさらに1回ひねります。

4



- ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

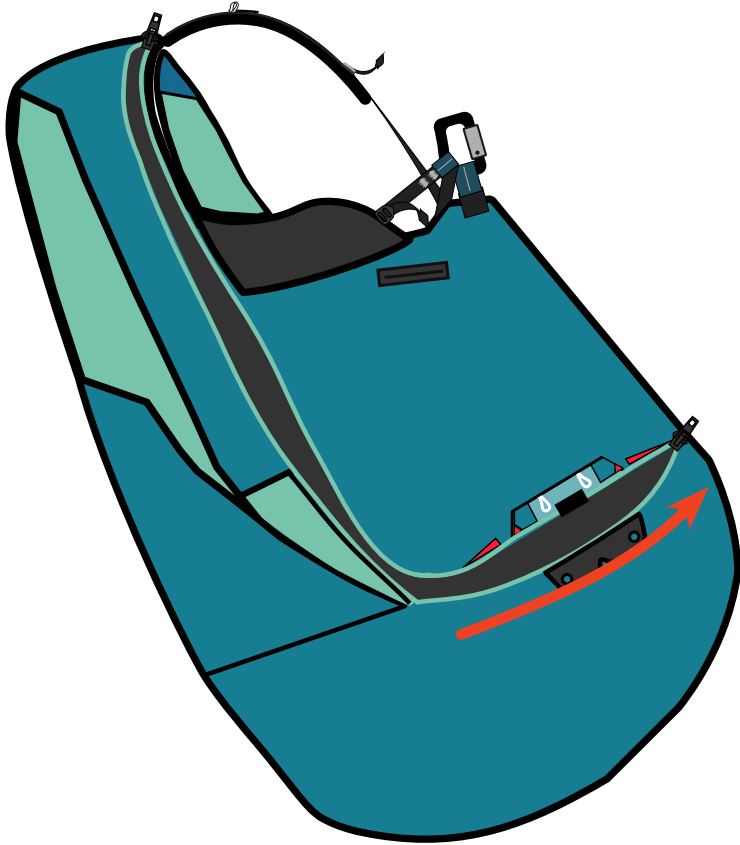
5



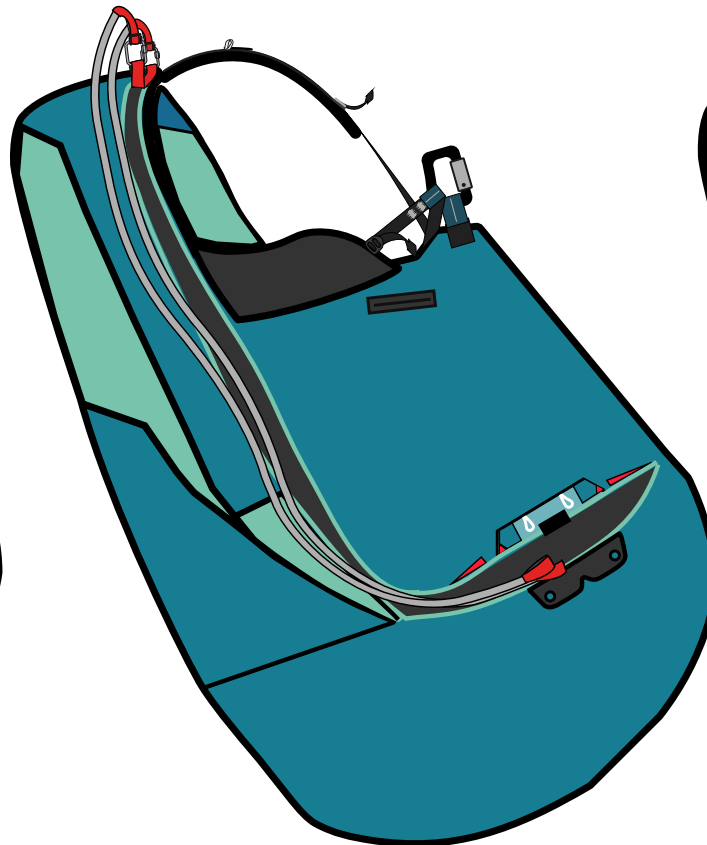
- ブライダルが容易にずれないか確認します。
- ラピッドリンク®を手で閉めます。
- その後、プライヤーを使ってさらに4分の1回転締め上げます。
- 反対側も同様に接続します。

レスキューのセットアップ

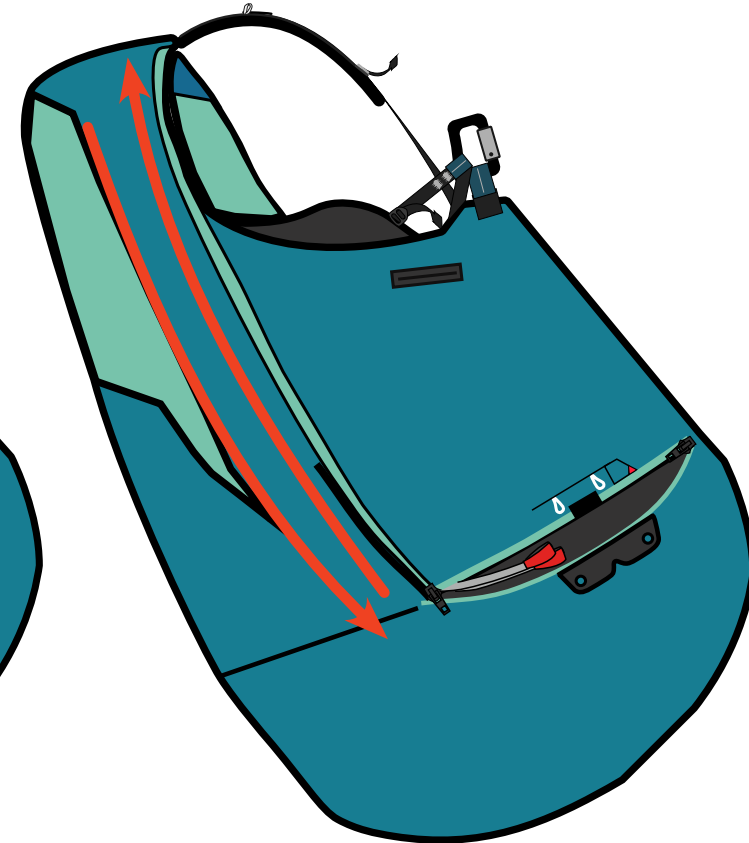
ブライダルをガイドスリーブに収納する



1 ブライダルガイドスリーブを開きます。



2 ガイドスリーブに沿ってブライダルを収納します。



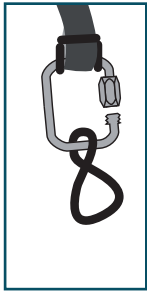
3 ファスナーのスライダーを上方からコンテナの位置まで下げてから、再度肩まで上げてガイドスリーブを閉じます。

レスキューのセットアップ

ブライダルとレスキューの接続

角型7mmラピッドリンク1個とOリング2個を用意します。

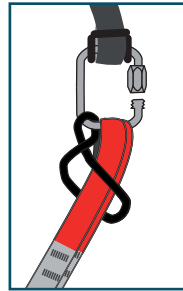
1



- レスキュー側のブライダルをOリングを使用してずれないようにラピッドリンク®に接続します。

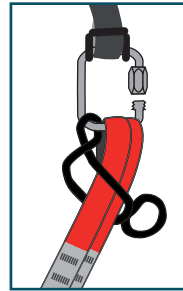
- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。

2



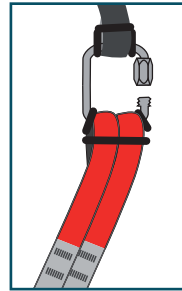
- ハーネス側の2本のブライダルをOリングに通してからラピッドリンク®に接続します。

3

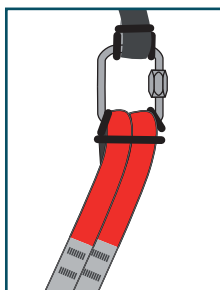


- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンク®に通します。

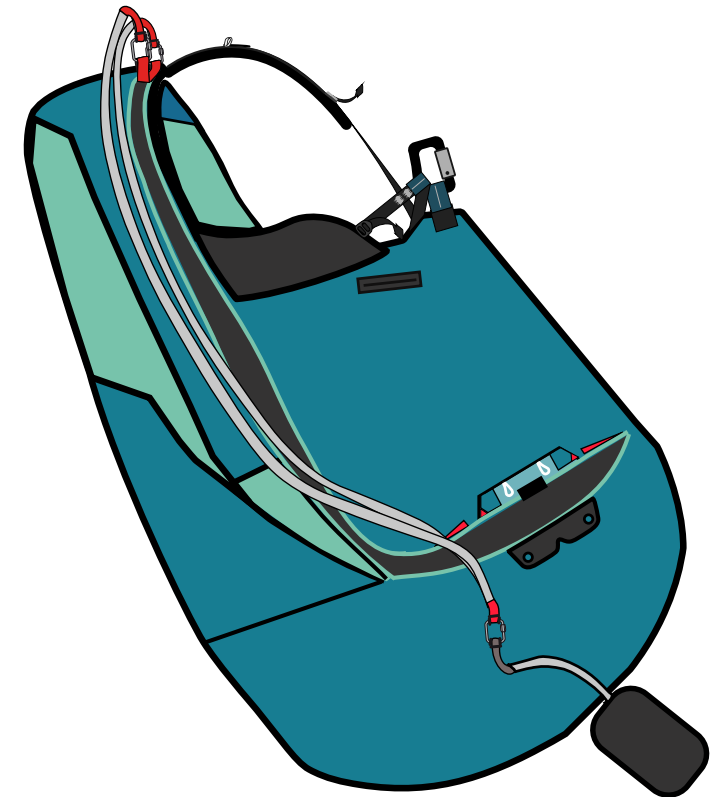
4



5



- ブライダルの接続がきれいに出来上がっているか確認します。
- ブライダルが容易にずれないことを確認します。
- ラピッドリンク®を手で閉めます。
- プライヤーを使用してさらに4分の1回転増し閉めします。



レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する

1

インナーコンテナにパッキングされたレスキューをハーネスのコンテナに挿入します。
サスペンションラインなどはコンテナの下側に位置するようにします。レスキューが正しい方向に向くように目印のマークが合致するようにしてください。



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのパッキングおよびハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。そうしない場合に対する責任は負いかねます。

レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する

- 2 ブライダルガイドスリーブのファスナーとレスキューコンテナのファスナーを図のように両端まで移動させます。



- 3 ガイドスリーブ内のポケットに収納されているレスキューコンテナを閉じるために利用できる二つ折りにされたガイドロッドを取り出します。

ガイドロッドを#1の閉じループに通してからガイドロッドを#1のハトメに通します。



レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する

- 4 レスキューグルの黄色のケーブルを閉じループ # 1に通してロックします。ガイドロッドを引き抜きます。



- 5 黄色のケーブルをレスキューグルを収めるポケットを通してから赤いスリーブに差し込みます。次にレスキューグルの端をポケットに差し込みます。



レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する

- 6 ガイドロッドを閉じループ # 2に通します。
更にガイドロッドをハトメ # 2に通します。
- 7 レスキューグルのもう一本の黄色のケーブルを閉じループ # 2に通しロックします。ガイドロッドを引き抜きます。



レスキューのセットアップ

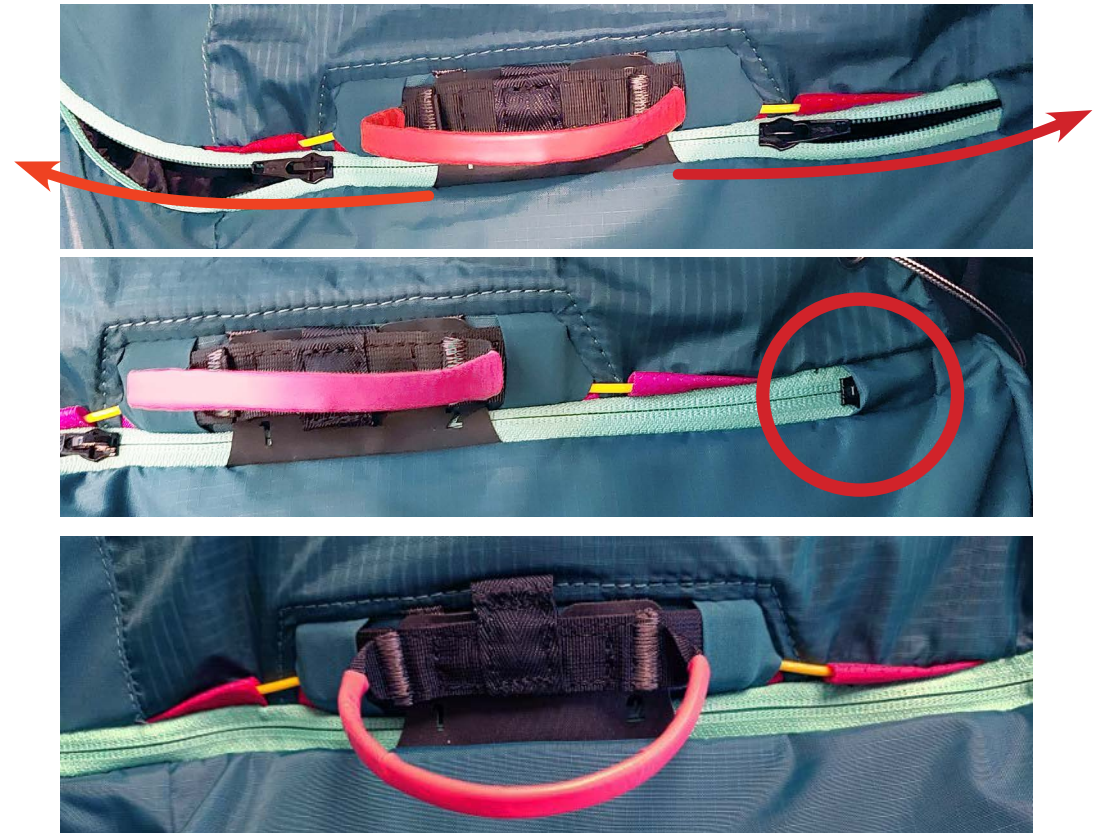
レスキューをコンテナに収納する

8

黄色のケーブルをレスキュートグルを収めるポケットを通してから赤いスリーブに差し込みます。次にレスキュートグルの端をポケットに差し込みます。



ファスナーのスライダーが共に端まで来ていることを確認してから両方のファスナーを完全に閉めます。



レスキューのセットアップ

レスキューの引き出し確認は必須です



レスキューのセットアップが
完了したらシミュレーターにぶら下がり、
必ず引き出しテストを実施してください



セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。
6か月ごとに引き出しテストを実施してシステムが正常に機能していることを確認してください。

注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

収納ポケットおよびガジェット



- 1 ハーネス状態:大容量背部収納ポケット.
- 2 ハーネス状態:サイドポケット
- 3 ザック状態:サイドポケット
- 4 ドリンクチューブ用スリット
- 5 ザック状態:ハイキングポール取付ループ

- 6 ザック状態:コンプレッションコード
- 7 ザック状態:ウエストベルトポケット
- 8 肩ベルトポケット



毎テイクオフ前にハーネスの調節をすることは大変重要です

調節項目

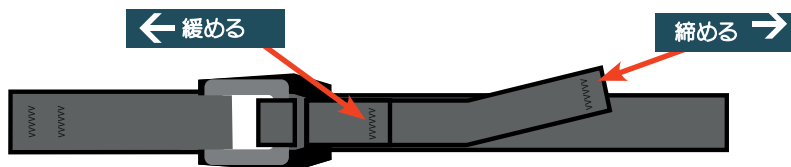
- ① チェストベルトの長さ調節
- ② 肩ベルトの長さ調節
- ③ リクライニング角度調節
- ④ 腰部サポート調節

ハーネスの調節

- A シミュレーターに吊り下げたハーネスに座り、両側のコブラバックルを締結します。
- B 肩ベルト長さ調節バックルを使用して肩ベルトの長さを調節します。②
- C フライト姿勢に合わせてリクライニング角度を両サイドのバックルを使用して調節します。③
- D チェストベルト長さ調節バックルを使用してチェストベルトの長さを調節します:理想的な長さはグライダーによって変化します。グライダーメーカーの推奨する数値に合わせてください。①
- E 必要ならば腰部サポートの調節をします。④



肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要です。



ハーネスの調節

ザックモードへの変換

① ハーネスの背部収納ポケット内にザックは収納されています。



② ザックを取り出すために背部収納ポケットを開きます。



ハーネスの調節

ザックモードへの変換

3 ザックを引き出し、ザックの両サイドのファスナーを開きます。



4 ハーネスをひっくり返し、ザック内に収まるようにハーネスを小さくたたみます。



この際、レスキュートグルを引っ張らるように注意してください。

ハーネスの調節

ザックモードへの変換

- 5 ハーネスがザック内に収納されたら、ハーネスが他のものと混ざらないようにハーネスの背部収納ポケットのファスナーを閉めてハーネスをポケット内に隔離します。



ハーネスの調節

ザックモードへの変換

6 ザックの両サイドのファスナーを閉めます。



7 ザックトップにあるロールトップを閉めればザックの完成です。



グライダーとハーネスの接続

ハーネスにグライダーを接続する

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します:Aライザーがフライト方向の前側に来る様に(右図参照)。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。

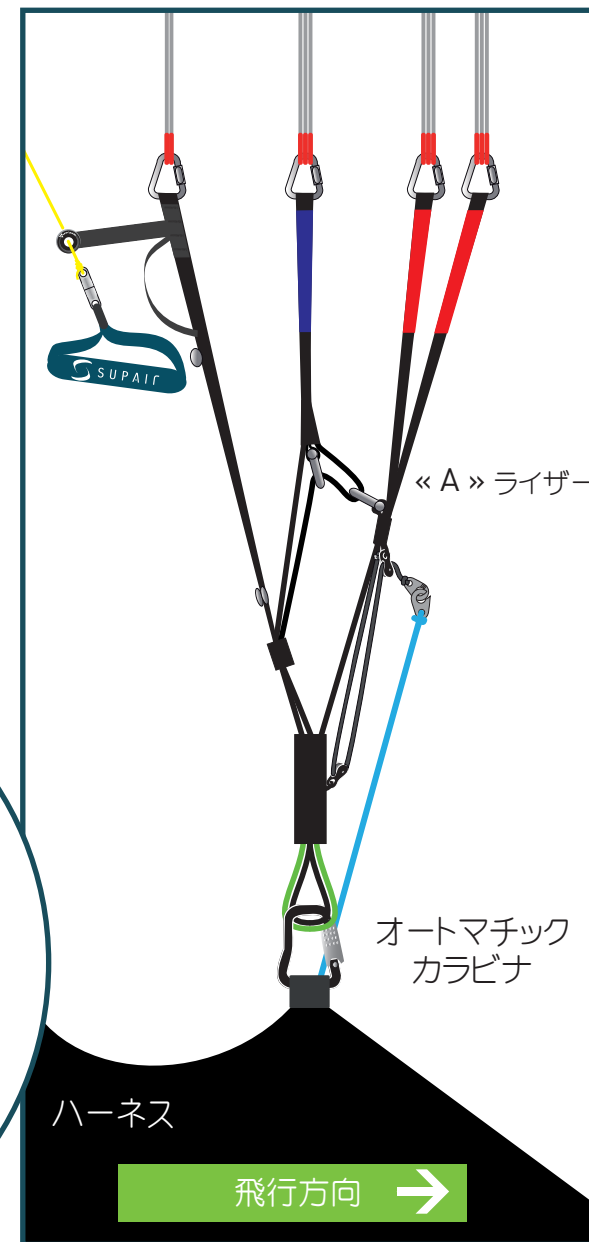
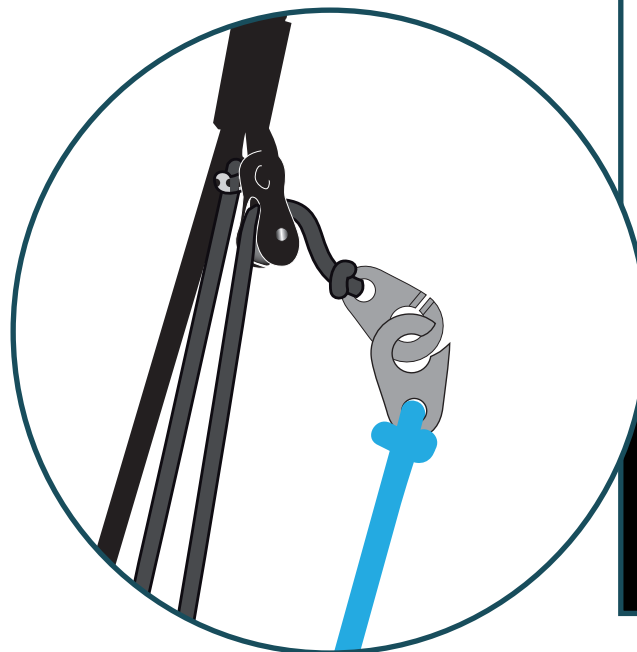
アクセルの接続

アクセルを10ページの説明にしたがってセットアップします。

アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。

アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。





フライト中の拳動

- 立ち姿勢から着座姿勢への移行は、良く考えられたハーネス構造により容易なものとなっています。
- 空中ではあらゆる状況下で扱い易く快適で、コントロールは正確かつ効率よく、直観的です。
- 初めてこのハーネスでフライトする際は、風が弱く大気の安定した状況下で講習バーンでフライトすることを推奨します。

プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグルのケーブルが確実に、閉じループを通してコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- レスキューグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着し次のステップへ進みます。



- 2個のオートマチックコブラバックルを締結します。

テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークグルから手を離さないように。

空中



カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。アクセルは、乱気流により敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することができます。
ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。



アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、シートからおしりを前方に出し、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。
ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するとき目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。
強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。
着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキューグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために右手をライザーに沿って下ろすことを推奨します。目で見なくてもレスキューグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でないあるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。



レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。

力強くレスキューグルをまずサイド方向、次に垂直方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレイクを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます。膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検項目

6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検:



専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

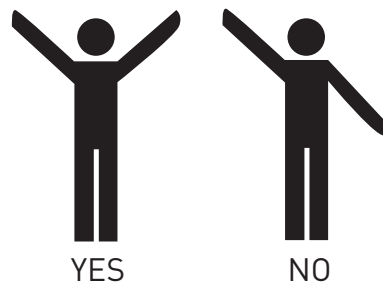
事故後の救助要請

緊急電話番号



EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助要請?



YES

NO

フラッシュライトによるSOS信号:



クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くして下さい。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください。

- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)



アルティランドライト2に使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的な検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです。



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には絶対に使用しないでください。レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的なリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも1年に1回はリパックをしてください。

修理

アルティランドライト2には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スプエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

交換部品

- ジュラルミン製オートマチックカラビナ30mm (商品コード: MAILCOM0US 30)
- ポリプロピレン製座板 (商品コード: S : MPPL030 | M : MPPL031 | L : MPPL032 | XL : MPPL033)
- レスキュートグル R4A2 (商品コード: POIR4)
- アクセル接続金具ブルンメルフック (商品コード: MPPM050)

素材

クロス

ナイロン 210D R/S 44 ROBIC
ナイロン 230T Triple R/S

テープ

ダイニーマ 12mm
ナイロン 15 mm
ナイロン 25 mm

リサイクル

全ての素材は、技術上および環境に対する特性から選択されています。我々のハーネスの構成素材は全て自然に害を与えません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

もしあなたのアルティランドライト2が、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地元の機関にお問い合わせください。

衝撃吸収システムに関して

あなたが購入されたハーネスはエアバッグによる衝撃吸収システムを採用しています。

このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具 (PPE) に関するEU基準2016/425に準拠しており、CRITT-SL SP-003実施要綱に従って、専門家の意見により認定されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました: ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE

エアバッグの保管、運搬および保守はハーネスと同様です。またプロテクションに対する検査もハーネスに対するものと同様です。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分か和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告: 衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法は、システムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。

従って、各フライトの前に次の確認を行ってください:

- エアバッグ/衝撃吸収プロテクションのふくらみと適切な形状
- エアバッグ

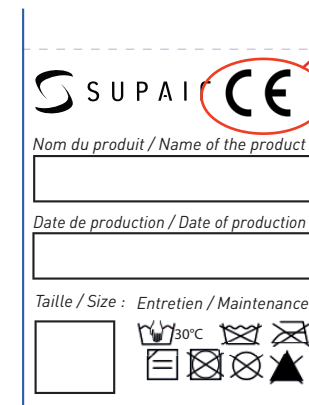


通常の使用状況下ではプロテクションの耐用年数は5年となっています。

警告! 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。

ラベルの意味:

PPE要件に適合していることを示すマーク



エアバッグが損傷した場合は、資格のある専門家に検査を要請し修理を依頼するか、スップエアー (sav@supair.com) までご連絡ください。

テスト結果とEU適合証書は、www.supair.comで確認できます。

保証

スップエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スップエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。スップエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

整備履歴

このページをあなたのアルティランドライト2の整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付	
購入者氏名:	
販売店名・印:	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

SUPAIR-VLD
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

45°54.024'N / 06°04.725'E